

サンタック

スパンシール誘発目地材

NETIS 登録番号：CB-240018-A

省人化・省力化が求められる現代のニーズに合わせてワンタッチ施工を実現



リニューアル

圧倒的な施工性を実現

施工性が従来品より
大幅に改善しました。

 早川ゴム株式会社

ホームページ <https://www.hrc.co.jp/>

スパンシール誘発目地材の特長

スパンシール誘発目地材は、構造物の壁面に発生するひび割れを所定の位置に計画的に発生させ、同時に止水効果を発揮します。コンクリート構造物の水和熱や外気温度等による温度変化で発生するひび割れの対策として、様々な分野の構造物でご使用いただき、多くの実績を挙げています。
省人化・省力化が求められる現代のニーズに合わせ、固定治具を使用する事で、施工性が大幅に改善しました。

■ 3つの特長

● 簡単施工

取付けは結束線や工具が**不要**
ワンタッチ施工により作業時間の**短縮**

● 優れたひび割れ誘発性能

豊富な部材構成により確実に
ひび割れを誘発
固定治具による**ブレ止め**効果

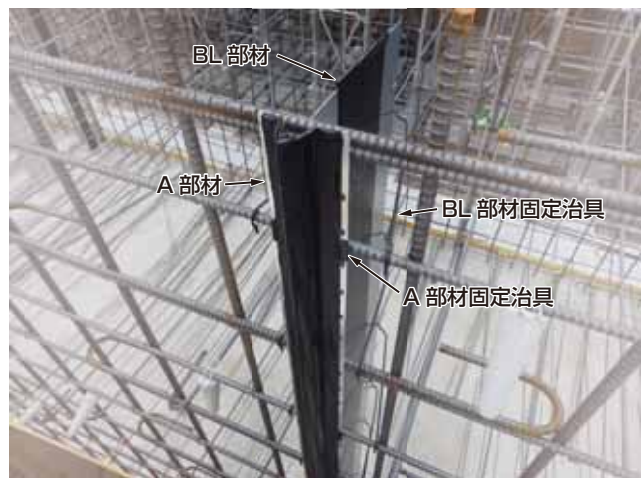
● 抜群の止水性能

実績豊富な**スパンシール**を積層
安心の**止水性**を実現

誘発目地材設置状況



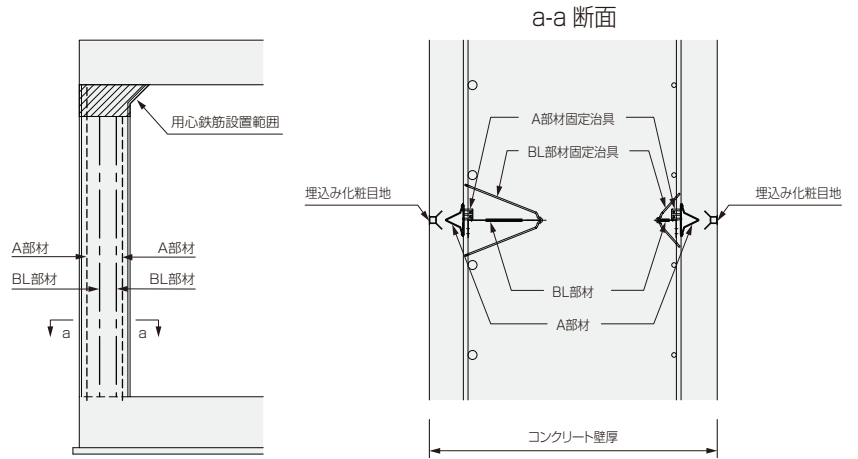
※ A部材固定治具取付状況



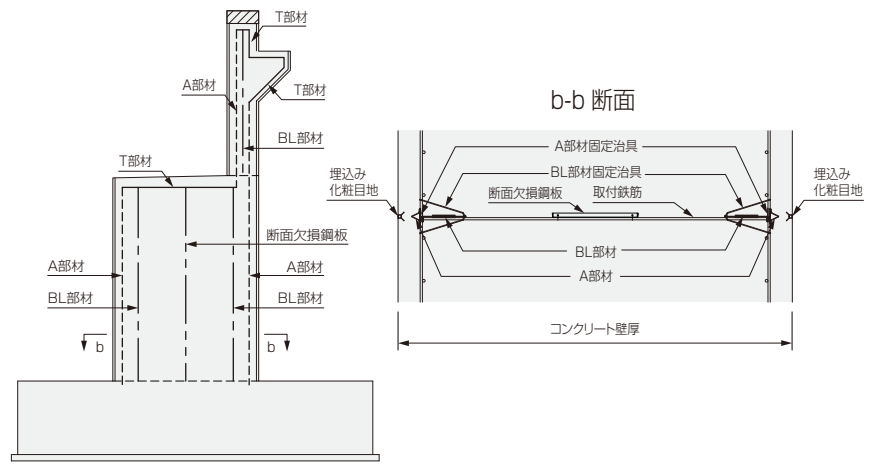
※ 固定治具を使用したA部材・BL部材の設置状況

施工実績（設置例）

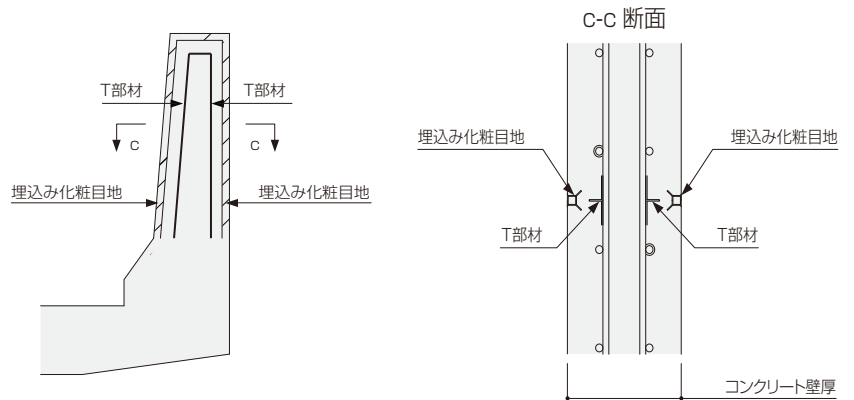
BOX構造物



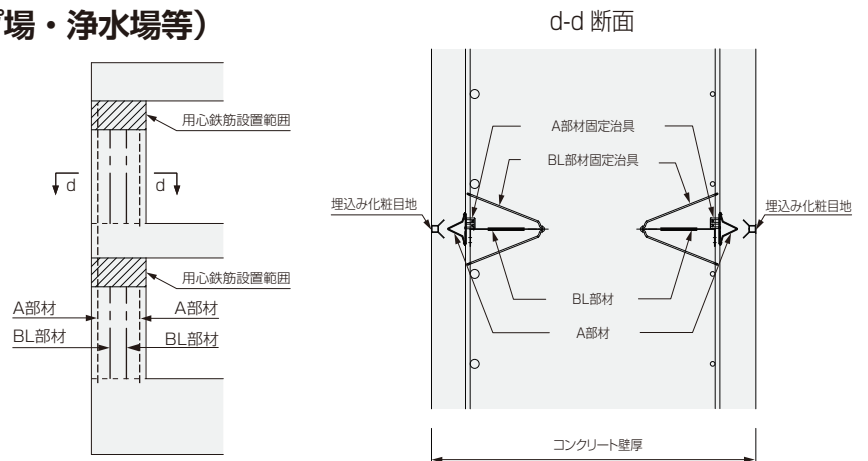
橋台



壁高欄



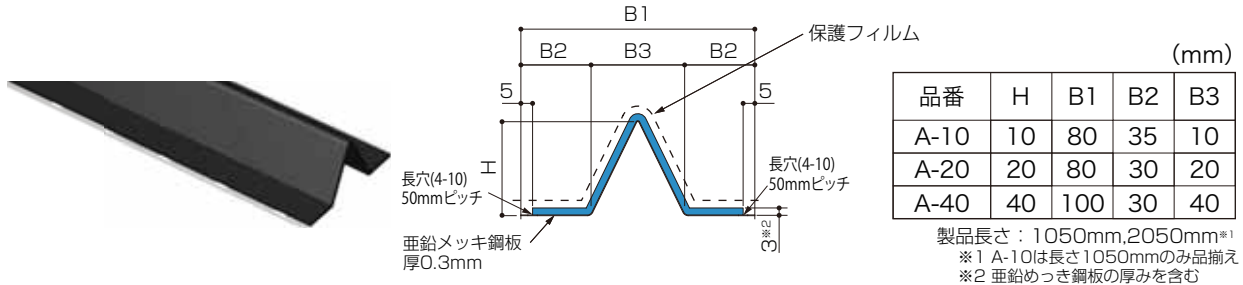
地下構造物（下水処理場・ポンプ場・浄水場等）



※上記のような割付け図をご希望の場合は、弊社営業までお問い合わせ下さい。
対象の構造図・配筋図をメールにて送付頂きますと図面の作成が可能です。最終ページにお問い合わせ先を掲載しております。

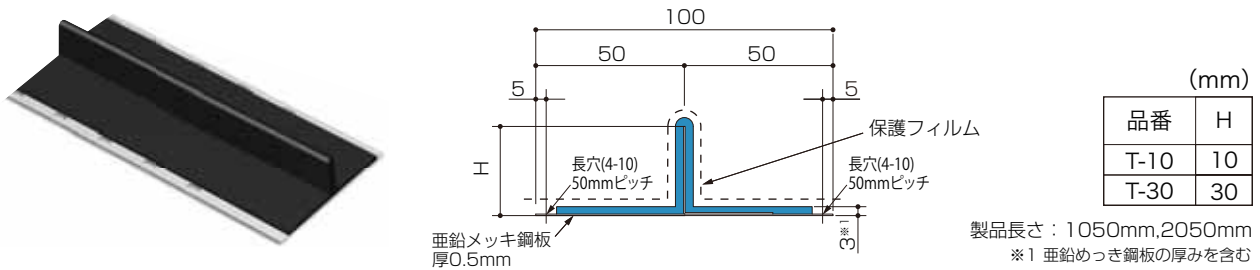
■ A部材

鉄筋被り部に配置され、主に鉄筋の防錆性（止水性）と化粧目地部へひび割れを誘導する機能を有します。



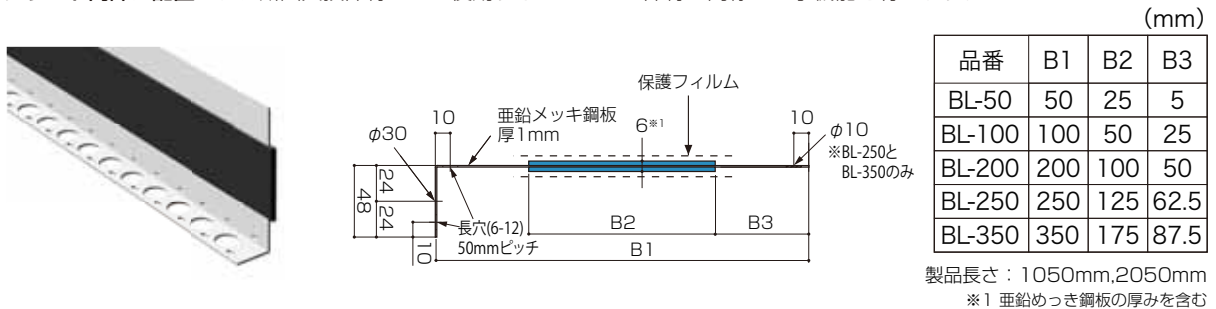
■ T部材

鉄筋被り部に配置され、主に壁高欄で使用されます。また、加工性に優れており、断面変化点や天端にも使用します。



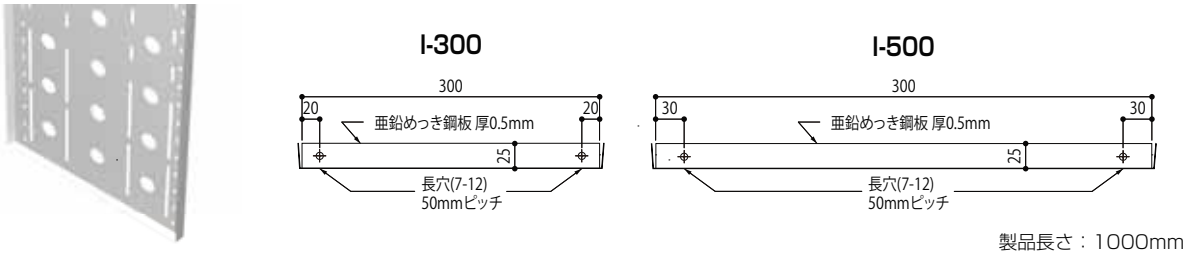
■ BL部材

コンクリート内部に配置され、断面欠損部材として使用するとともにA部材と同様に止水機能を有します。



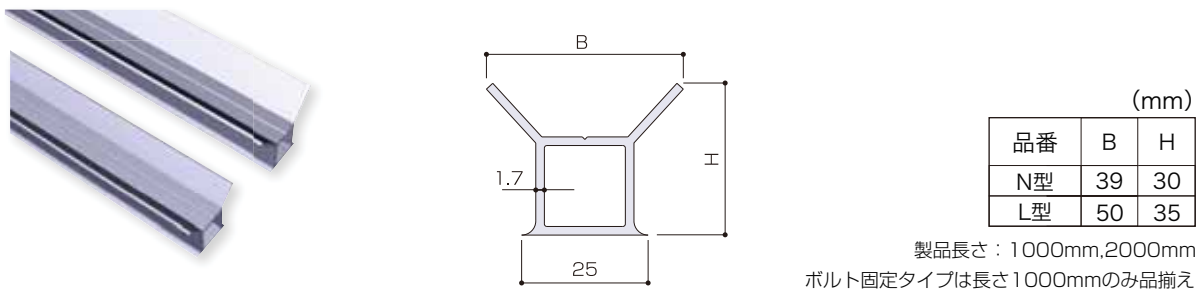
■ 断面欠損鋼板

コンクリート内部に配置され、比較的壁厚の大きな構造物の断面欠損部材として使用し、効果的にひび割れを制御します。


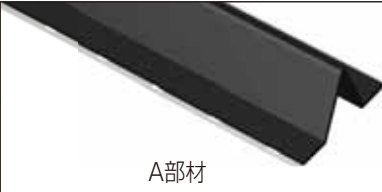


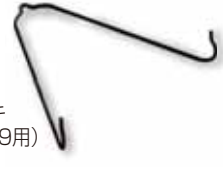
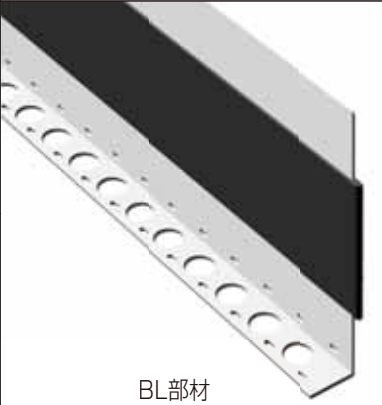



■ 埋込み化粧目地材

コンクリート最表面に配置され、型枠脱枠後のシーリング処理を省くことが可能です。特殊形状により、ひび割れを集約します。



■ 固定治具一覧

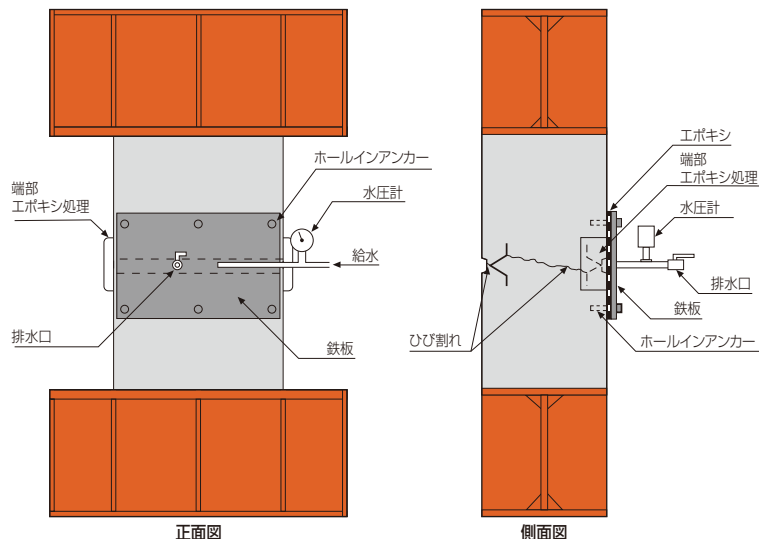
	適用固定治具			適用誘発目地材	
		品番	適用鉄筋径		
A 部 材 用		A-20①D1316 A-20②D1922 A-20③D2529	(D13~D16用) (D19~D22用) (D25~D29用)	A-20	 A部材
		A-40①D1316 A-40②D1922 A-40③D2529	(D13~D16用) (D19~D22用) (D25~D29用)	A-40	
T 部 材 用		T-10-T-30①D1316 T-10-T-30②D1922 T-10-T-30③D2529	(D13~D16用) (D19~D22用) (D25~D29用)	T-10 T-30	 T部材
B L 部 材 用	黒メッキ (D13~D19用) 	BL- 50①D1319 BL-100①D1319 BL-200①D1319 BL-250①D1319 BL-350①D1319	(D13~D19用)	BL-50 ┆ BL-350	 BL部材
	白メッキ (D22~D29用) 	BL- 50②D2229 BL-100②D2229 BL-200②D2229 BL-250②D2229 BL-350②D2229	(D22~D29用)	BL-50 ┆ BL-350	

■ スパンシール物性値

項 目	条 件	単 位	測 定 値	項 目	条 件	単 位	測 定 値		
密 度	—	Mg/m ³	1.46	耐熱性	引張強さ	7日	MPa	0.103	
不揮発分	—	%	99.2		切断時伸び	7日	%	650	
引張強さ	—	MPa	0.079	耐寒性	引張強さ	7日	MPa	0.087	
切断時伸び	—	%	1210		切断時伸び	7日	%	1080	
耐 候 性	480H	—	少々表面硬化	耐薬品性	硫 酸	3%	引張強さの保有率	%	90
吸 水 性	168H	%	0.3		塩 酸	3%		%	93
柔軟温度	—	℃	-58		苛性ソーダ	3%		%	89
圧縮復元性	50%	%	84.2		酢 酸	3%		%	90
					アンモニア	3%		%	89
					塩 素 水	1000ppm		%	90

止水性能確認試験

■ 試験概要図



■ 試験結果

平均ひび割れ幅	水 圧	負荷時間	結 果
0.974mm	0.1MPa	30分	漏水なし
	0.3MPa	30分	漏水なし
	0.5MPa	30分	漏水なし
0.506mm	0.1MPa	30分	漏水なし
	0.3MPa	30分	漏水なし
	0.5MPa	30分	漏水なし

施工方法

固定治具を使用した施工方法は、別紙施工要領書をご参照いただくか、右のQRコードより施工方法動画をダウンロードしてご覧ください。



■ A部材とBL部材の施工方法

各部材の固定治具は1mあたり3箇所使用してください。また、ジョイント部は50mmラップさせて下さい。A部材・T部材のジョイントは、同梱のジョイント用シーラーで増貼りしてください。



① 下げ振りを使用して垂直精度を確認し、取付位置に墨出した後、BL部材を設置して下さい。



② BL部材の先端に固定治具の先端を当てます。



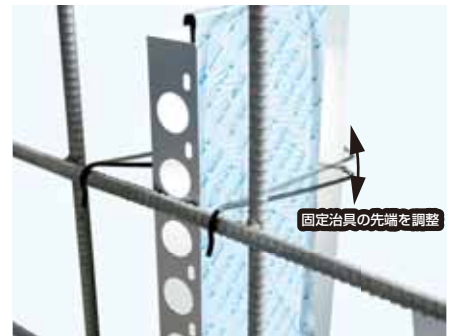
③ BL部材の向きが上図の場合は右からはめ込みます。



④ 左の先端を鉄筋にはめ込みます。



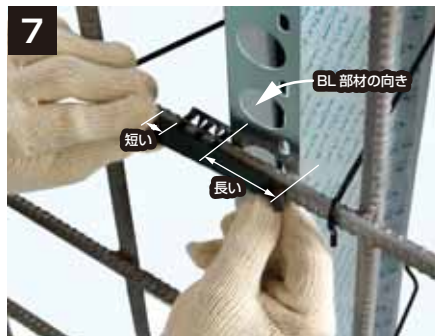
⑤-1 BL部材の固定が不安定な場合固定治具の幅を調整して下さい。



⑤-2 BL部材の固定が不安定な場合固定治具の先端を上下して調整して下さい。



⑥ A部材用固定治具を配力筋にはめ込みBL部材の角と固定治具の爪をしっかりと当てて取付けます。



⑦ 注) 固定治具の向きに注意してはめこみます。



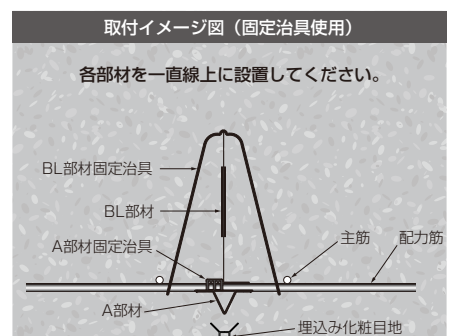
⑧ 差し込みの邪魔にならない様に、保護フィルムをはがし、A部材の両端を押さえます。



両端を押さえながら治具のはめ込み部に差し込んでください。



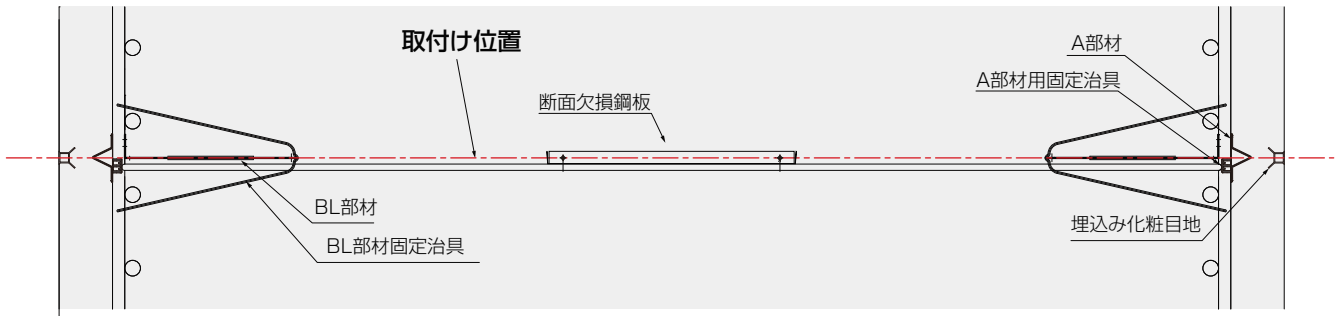
⑨ A部材、BL部材設置完了



注意事項

※1 2方向スラブとして設計されている壁などの場合、発生したひび割れは、鉄筋に残留応力を生じさせるため、構造性能に及ぼす影響を検討する必要があります。

※2 埋込み化粧目地材を含む誘発目地部材は必ず一直線上に配置してください。



※3 止水性を重視する場合、A部材を底版へ5cm以上埋め込んでください。

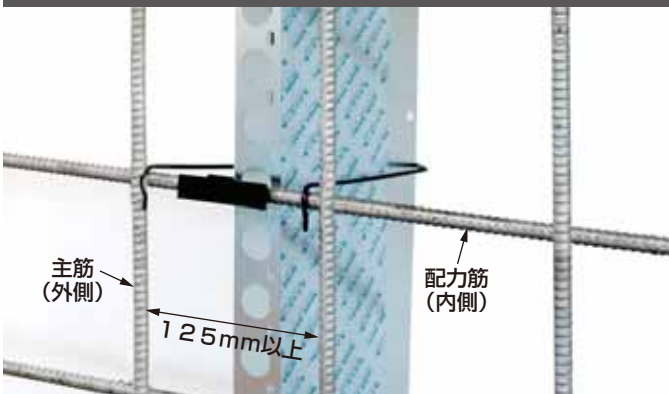
その場合、最下部は底版コンクリート打設前に取り付けておくか、底版コンクリート打設後コンクリートが硬化する前に埋め込んでください。

※4 コンクリート打設前には必ず保護フィルムを取り除いてください。

※5 安全の為、保護具（手袋等）を使用して施工してください。

※6 固定治具を使用する場合は、下記の注意事項を考慮したうえで施工してください。
使用できない場合は結束線で固定してください。

配力筋が内側の場合



鉄筋と鉄筋のあきが125mm以上の場合のみ使用して下さい。
(配力筋が内側の場合は、主筋ピッチが狭いと取付けられない可能性があります。)

勾配のついた構造物の場合

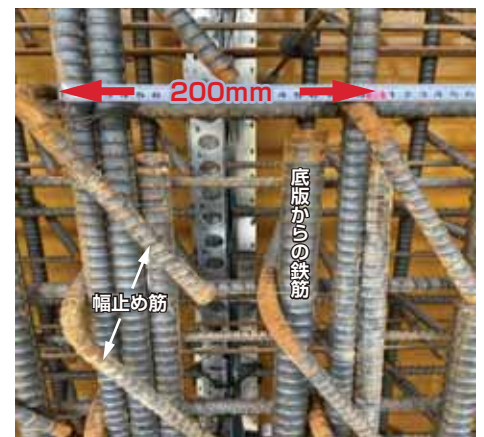
構造物の縦断勾配に対して主筋が鉛直に設置してある場合は、勾配によって固定治具が使用不可となる可能性があります。各固定治具の適用可能勾配は以下としてください。

固定治具の種類	適用可能勾配
A部材用	8%以下
BL部材用	8%以下
T部材用	3%以下

上記を超える勾配や、固定治具が取付かない場合は、結束線で固定してください。

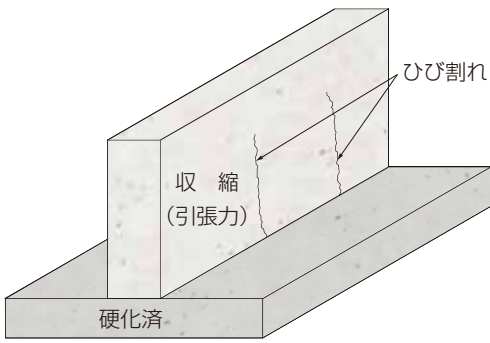
固定治具使用不可のケース

- ・右図のように主筋ピッチが200mmの場合でも、底版からの鉄筋や幅止め筋等で鉄筋が密になっており、固定治具を設置するスペースがない場合
- ・固定治具を取付ける鉄筋（配力筋）が重なっている場合、またはラップしてある場合
- ・幅止め筋（スターラップ筋）と固定治具が干渉する場合
- ・鉄筋のかぶりが小さく部材と干渉する場合



誘発目地材によるひび割れ制御のメカニズム

① ひび割れ発生の原因

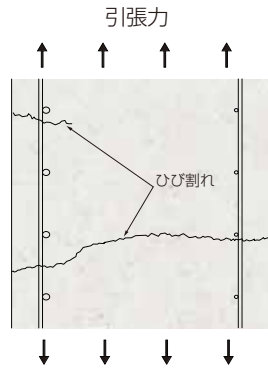


コンクリート構造物は、温度変化等により膨張・収縮が発生します。

上図のように、硬化済のコンクリート上に新たにコンクリートを打設した場合、自由な収縮が妨げられることで引張力が生じ、ひび割れが発生します。

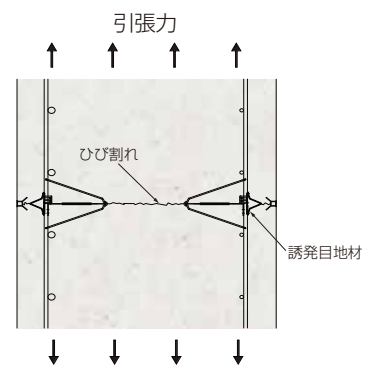
ひび割れは、部材を貫通するひび割れとなる可能性が高くなります。

② 誘発目地材を使用しない場合



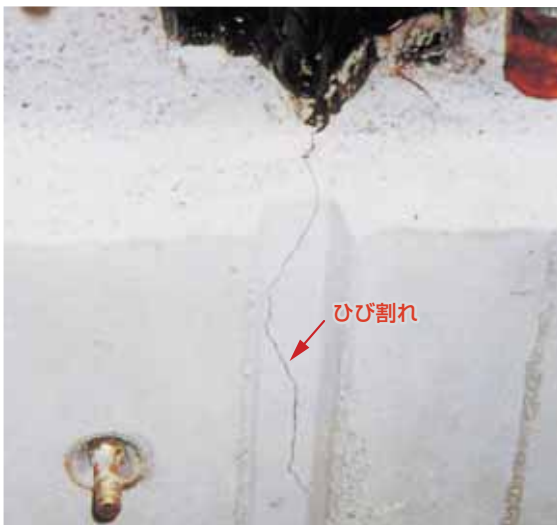
誘発目地材を使用しない場合、どこにひび割れが発生するかわかりません。また、発生したひび割れにより、鉄筋の腐食や漏水が懸念されます。

③ 誘発目地材を使用した場合

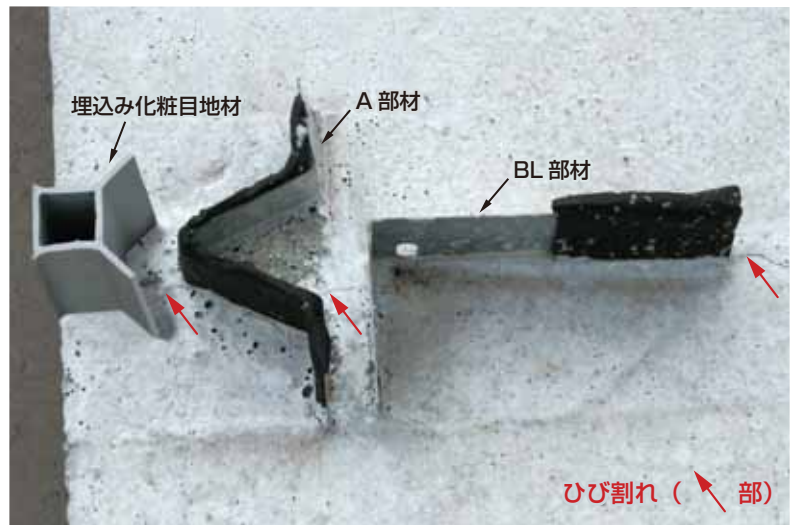


誘発目地材を使用した場合、設置した箇所にひび割れが誘発され、その他の部分へのひび割れ発生を低減します。ひび割れは「スパンシール」の効果により止水され、鉄筋の腐食や漏水を防ぎます。

ひび割れ誘発状況



※ 化粧目地部分へのひび割れ誘発状況



※ 埋込み化粧目地材+A部材+BL部材を施工した場合のひび割れ誘発状況

● カタログデータは代表値であり、品質を保証するための規格ではありません。 ● 商品改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

早川ゴム株式会社

本社・箕島工場 / 〒721-8540 広島県福山市箕島町南丘5351番地
TEL(084)954-7801 FAX(084)953-2121
東京支店 / 〒135-0031 東京都江東区佐賀1丁目16番10号
TEL(03)3642-1180 FAX(03)3643-6288
大阪支店 / 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町12番8号
TEL(06)6386-6531 FAX(06)6380-0670
仙台営業所 / 〒984-0015 仙台市若林区卸町5丁目2番10号 (卸町斎場ビル3F)
TEL(022)353-6235 FAX(022)232-2033
名古屋営業所 / 〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目2番22号 (中部資格ビル5F)
TEL(052)211-3444 FAX(052)211-5053
福山営業所 / 〒721-8540 広島県福山市箕島町南丘5351番地
TEL(084)954-7801 FAX(084)953-2121
福岡営業所 / 〒815-0031 福岡市南区清水1丁目18番6号 (第二松岩ビル)
TEL(092)511-3914 FAX(092)511-3947

●お問い合わせは